

# 日刊 動労千葉

83. 7. 19  
No. 1394

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

## 勝利！闘争ジェット三里塚！ 臨調・行革粉碎！

# 「動乗勤改悪は、20年前への逆戻りだ！絶対許すな」 ある古参組合員の率直な声

### 三日間の支部対話オルグ かちとられる 成田支部 通信員・発

成田支部は、七月十一日から十三日の三日間にわたって、一三九名組合員全員と執行部が膝をつき合わせて話し合う「対話オルグ」を実施し、大きな成果をかちとりました。

正しい路線と団結力で  
労働者魂を發揮しよう！

今日、われわれをとりまく情勢はたしかに厳しいものがあります。

しかし、動労「本部」革マルのように、すべての闘いから逃亡し、なかならず闘う者を権力・当局の意をくんで背後から襲撃・圧殺するという、完全な御用組合に転落し、それを正当化するために「冬の時代論」で組合員をだまし、不平不満を強制的に押さえ込むという方針では決して今日の情勢を打開することはできないことは明々白々であります。

われわれは、権力、当局、動労「本部」革マルの一体となった動労千葉破壊攻撃（「6・12不当判決」不当処分策動）や、「7・7不当捜索攻撃」に対して真向から立ち向い、確固たる路線と団結力で労働者魂を發揮し、労働者階級の道を切り開くことを明らかにするものです。

有意義だった三日間の対話オルグ  
その第一段階が対話オルグでした。

特に、マル生攻撃を知らない若い組合員に対し、年輩組合員から当時の様子が詳しく話されたり、8・8ジェット燃料輸送期限切れ後の当局や権力の動向、さらには昇給協定改悪問題等々、多くの貴重な意見が述べられました。

支部は三日間の対話オルグを総括し、当面する闘いの取り組みについて次の通り決定しました。

- 一 新ステッカー・ワッペン闘争の強化
- 二 「動乗勤改悪」の学習会を開催する。
- 三 7・24家族組合行事への積極的参加
- 四 8・8パイプライン供用開始粉碎
- 五 59・2ダイヤ改悪阻止
- 六 片岡・吉岡・篠塚三君への「解雇」攻撃粉碎
- 七 10・9三里塚全国集会への大結集の実現

以上の闘いを、われわれ成田支部は、動労千葉一三〇〇の最先頭を狙って闘いぬくことを決意し、より一層の団結をうち固めました。



ありし日の羽仁五郎氏  
「三里塚はパリのコミュニェだ。動労千葉こそ本物の労働者だ。勝利は疑いない。」

## 7月26日羽仁五郎氏追悼集会に結集しよう

日本の進歩的各界各層を広範に網羅するこの追悼集会で、闘う労働組合を代表して動労千葉・関川委員長が追悼のあいさつを述べる予定です。

「歴史の歯車は決して後へは回らない」との信念を堅持し、反戦・反核・平和の実現にむけて先頭で闘ってこられた氏の遺志を継ぎ、三里塚一動労千葉をつつむ闘いを更に前進させるための集会として積極的に参加し、大成功させようではありませんか。

羽仁五郎氏追悼の夕べ  
とき 7月26日（火） 18時より  
ところ 日比谷公会堂  
集合 千葉駅3・4番線ホーム、  
本千葉方16時40分（時間厳守）  
※ 指定列車  
一五八二F 千葉発16時58分



動労千葉、三里塚芝山連合空港反対同盟の良き理解者であり、たたかいて支え導いてくれた歴史学者・羽仁五郎氏の死を悼む集会が七月二六日、東京・日比谷公会堂で開催されます。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！